



新年のご挨拶

協同組合阪神商工共済会
理事長 笹部 藤和

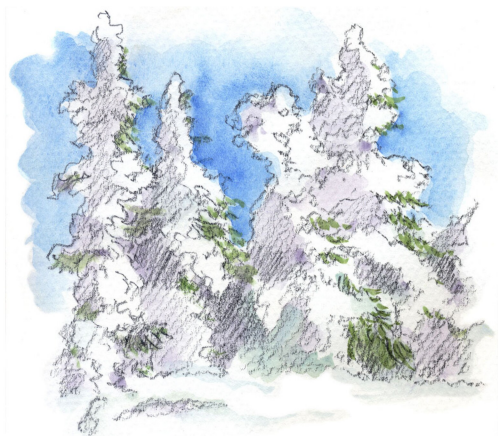
昨年末、吉永小百合さんと坂本龍一さんのチャリティコンサートに行きました。題して“平和のために”と音楽と花と”というものでした。

吉永小百合さんが、30年来のボランティア活動として続けていた原爆詩の朗読である。平和な時代が当たり前のようになっている一方、中近東や中央アジアでテロが頻発している地域から見ると、この国は有り難い国である。

この平和がこの国でも過去の大きな犠牲の上に成り立っていることを私たちは忘れてはいないが、市民生活や経済活動に日常生活が埋まってしまうほどせわしない生活に支配されてしまいそんな日常の

暮らしの中でも、多くの人が平和のために働いている。白い服とメイクのほとんどが始まると、2700席をほぼ埋め尽くした観客席は朗読の作り出す臨場感に引き込まれて酔いしれる感じ、これが彼女の芸の力だとひとしきりの感動である。表現の世界に生きていく人たちは大きな力を持っているものだ。過去には希望の持てる未来へのための歴史教科書とも言われている。

和への強い願いをこれからも訴え続けるとコメントしていただきました。私たちの共済会も同じような思いの下小さな力の結集でありましたが、市民運動を展開してきた先輩諸氏の歴史があることを今の世の中に暮らす私たちへの歴史教科書になっっている感じがします。会員の皆様にはお元気で過ごしてください。商売は心配ばかりの日常でなくあれと祈ります。



生かした観光企画や、定住移住を促進する婚活イベント企画、そして就労支援のための講座企画に取り組みしています。後者については、神戸市内にある商店街や市場の支援を行っています。補助金申請書類の作成や販促イベントの企画、魅力発信のための広報誌作りや会員同士の連携を強化するためのコミュニティ作りなどが、主な取り組みです。

開業から7年が過ぎ、弊社を取り巻く環境も随分と様変わりしました。整体院のコンサルティングから始まった弊社の事業は、地方創生の一翼を担うところまで成長を遂げました。開業10周年を控える今の目標は、阪神間の商店街や市場を観光名所として訴求できる娯楽施設へと変化させることです。競争の激しい商業界において、さらなる創意工夫が求められることは言うまでもありません。地域住民だけでなく、県外・国外からの来場者を増やすことで、地域商業の活性化を目指したいと考えています。

コアラ会 ゴルフコンペ開催

平成28年11月16日、コアラ会ゴルフコンペが、西宮高原ゴルフ倶楽部にて開催されました。参加者は15名(男性12名女性3名)で、結果は次の通りでした。(敬称略)

- 優勝 丸山千冬 (南さんとす)
- 準優勝 幸 勝二 (榎三幸鐵工所)
- 三位 大成賢志 (榎大伸塗工)
- 七位 笹部藤和 (榎エボン製作所)
- B B賞 嘉藤絢音

今回、初参加の丸山千冬氏が優勝されました。
次回は平成29年3月15日(水)開催の予定です。



国税のクレジットカード納付サービス開始

平成29年1月4日より、国税のクレジットカード納付サービスが開始されました。クレジットカード納付サービスとは、インターネット上でのクレジットカード支払の機能を利用して、国税長官が指定した納付受託者(トヨタファイナンス㈱)へ、国税の納付の立替払いを委託することにより国税を納付する手続きです。留意事項は次のとおりです。

納付可能金額	1,000万未満、かつ、クレジットカードの決済可能金額以下の金額(決済手数料を含む)。
利用可能カード	Visa、Mastercard、JCB、American Express、Diners Club、TS CUBIC CARD
領収書	発行無し。必要な場合は最寄りの金融機関または所轄の税務署の窓口で納付。
決済手数料	納付税額が最初の1万円までは76円(消費税別)、以後1万円を超えるごとに76円(消費税別)を加算。
納付完了の扱い	「お支払サイト」での納付が完了するとその納付手続の取消はできない。カード利用代金の引落日が納付期限後であっても関係なし。

株式会社長瀬工業所

代表取締役 宮崎 勝巳



を崩されたのを期に、平成元年に就任されました。
現在、主な取引先は 焼却炉メーカー(株)タクマです。尼崎・泉北・奈良県橿原市のクリーンセンターのボイラーの洗滌、圧力タンク類の清掃を受けておられます。

東方見聞録



株式会社長瀬工業所さんは長年尼崎でボイラーの洗滌及び補修をされています。創業は大正年間に遡ります。初代社長 長瀬森道氏が汽罐(ボイラー)洗滌専門の阪神洗滌工業所を立上げられました。各方面より高い信頼を受けられ、昭和16年には、関西電力尼崎第二発電所の業務を受注、さらに業務を拡大し、昭和33年11月に長瀬工業所と改め、昭和37年2月に株式会社を設立されました。

ボイラーは高さ20メートル余りもあり、足場を組んで手作業で行っています。ボイラーはゴミの焼却炉の廃熱を利用し、水蒸気を発生させてタービンを回し電力を起します。(石油で行うのが火力発電です。)



灰がこびりついたボイラー内の水管

単にゴミを燃やすだけの焼却炉は、温度が低くダイオキシンを発生させて健康被害をもたらせました。そのためゴミを完全に焼却させ24時間稼動するボイラーに変わりました。ボイラーの中には水を通す水管が数え切れないほど設置されています。それにゴミを焼却した灰が石化してこびりつきまます。溜まるとガスの通りが悪くなり、効率が下がります。それを年に一度1ヶ月かけて取り除きます。全身を防護着で包み、マスク、ゴーグルを付け1日8時間作業にかかります。鉄筋やエアブレイカー(はつりの道具)で手作業でこそげ落とします。冬場

はよいのですが、真夏は30分が限界。エアコンも空調も無い所での作業となります。昨今夏が猛暑となり熱中症が一番の心配です。
なかなか求人集まらず人手不足が悩みの種ですが、後継者の宮崎克寿氏もおられ、縁の下の力持ちの仕事に従業員たちが頑張っていてくれるので、皆が安心して暮らしていければと優しい笑顔で語っておられました。

尼崎市大浜町2丁目8-5
Tel 06-6416-5229



エアブレイカー (はつりの道具)

きな広告の仕事にもう一度トライしたい。今にして思えば、向こう見ずな始まりでした。



株式会社ラーベン・アンド・ニールセン
(神戸市商店街・市場「応援隊」登録事業者)
代表取締役 松尾 良彦



ガタンゴトンと列車が行き交い、プルートというクラクションが鳴り響く。なんとなく霽のかかった景色の向こうに、古びた看板が立ち並ぶ。個人商店と法律家が軒を連ねるセピア色の街。

ラーベン・アンド・ニールセンは、神戸・元町の西端にある広告会社です。

平成21年10月1日、元町の国道沿いにあるレンタルオフィスで、弊社は産声を上げました。ただ漠然と起業したい。大好

きっかけを与えてくれたのは、知人が経営する整体院。開業半年にして廃業の危機を迎えたところに、再起を賭けた相談を私にしてくれたことです。

当時の私はサラリーマン、それなりに安定した収入があり、それなりに満足できる生活をしていました。でも、退屈極まりない日々でもありました。今にしてみれば、とても贅沢な思いです。しかし、自分を持って余っていた私にとっては、願ったり叶ったりの出来事でした。私に託されたミッションは、

一か月で整体院の経営を立て直すことでした。知人の手持ち資金はわずか一万円。失敗すれば家族が路頭に迷う。出来過ぎたドラマのような光景が、目の前に突きつけられました。広告営業マン時代に培った知識と経験を、冷静に当てはめ行動に移す。市場のニーズを分析し、伝えた人に伝わる広告を打ち出す。短期間で結果を出すために、最もインパクトのある方法で。

策が功を奏したのか、業績は瞬く間に回復しました。気がつけば、その整体院は開業以来、最高の売上を達成できたのです。その瞬間、何の迷いもなく開業届を出した自分がいました。平成21年10月1日のことでした。

さて弊社は、広告デザインとコンサルティング事業を軸に、二度の変化を遂げました。一度目の変化は、平成24年10月1日。デザイナーを従業員として迎えるに当たり事業を法人化(合同会社)しました。そして二度目の変化は、平成29年1月1日。

弊社は、合同会社から株式会社へと組織変更しました。神戸開港150年の日に、新たなステージへと進むためです。

ところで弊社に興味を持ってくださるほとんどの方は、社名の由来について質問を投げかけてこられます。
・ラーベン=ワタリガラス(知恵の象徴)
・ニールセン=ニルス(原語=勝者)の子孫

つまり、「知恵を駆使した広告戦略で、市場を制する勝者(企業)を生み出す」という弊社の決意表明です。

開業当初は、小規模企業者を対象とした広告デザインとコンサルティングを主体事業としていました。現在は、地域活性化、および地域商業活性化のための企画・広報・コンサルティングを軸とした事業を展開しています。前者については、地域資源を